

企業における職場体験

<https://www.lapprenti.com/html/apprenti/enentreprise.asp>

CFA(修業教育養成センター)と準備している免状によって、あなたは 4 週間のうち 2-3 週間を企業で過ごすことになるでしょう。それが職場体験です。

実務訓練を受けている企業で、あなたは働き、その代わりに給与を受け取ることができます。

労働のさまざまなポスト、生産の職務命令、供給者と顧客との関係などを見出すでしょう。あなたは責任を取り、成長するでしょう。あなたは専門職になるのです。

修業教育の指導者

それは企業内で修業生に責任をもつ人です。あなたの雇用主か有資格の雇用者が担当します。

修業教育の指導者になるためには、道徳性と専門職の能力の保証を示さなければなりません。

あなたの指導にあたる人は、つぎの人です。

- 成年者
- あなたが準備しているものと少なくとも同じレベルの免状を有すること
- 教育を受けた職人仕事で専門職の経験が少なくとも 3 年を有すること

その人と共にあなたは職人仕事でしだいに一人前になるでしょう。その人があなたに実務能力を伝達してくれるでしょう。

現場で受ける専門職養成と養成センターで受ける専門養成を調和するために、修業教育の指導者は CFA(修業生養成センター)によって編成される連携活動に参加します。

指導者は修業教育指導者/修業生/CFA の指導者の連携を確保する書類(修業教育手帳、カード)に書き込みます。

雇用主のいない修業生

2011 年 7 月 28 日のシェルピオン法では、雇用主を見出すことができなかったけれども修業教育の養成を受けたいと望んでいる 16 歳から 25 歳までの若者は、修業生養成センター(CFA)あるいは修業教育部門(SA)で養成を始めることができます。

目的:専門職養成の研修生という立場で最長 1 年間養成に参加し、そして社会的に保護されている職人仕事について同じ権利があります。

この立場は、養成に入門する時に、中等教育の最初の段階(第 3 級の終わり)に達している 15 歳以下の若者にも適用されます。

雇用主のいない修業生の社会的保護に責任をことに關しては、国が財政的な負担をします。

更新日：2018/02/15